



銀杏の季節、資料を開けばイチョウの葉



資料を保存するにあたり、害虫による被害を防がなければなりません。特に、シミ(紙魚、衣魚、蠹魚)と呼ばれる昆虫は、和紙や衣類に害を与えます。平安時代中期の物語『源氏物語』45巻「橋姫」には、「紙魚といふ虫の住み処になりて、古めきたる黴くささながら、跡は消えず」((手紙は)紙魚という虫の住処になっていて、古びたカビ臭さがあるが、筆の跡は消えず)とシミが登場し、古くから和紙などに発生する虫だと認識されていたようです。

古い書籍などを開くと、時々、**イチョウの葉**が葉のように挟んであるのを目にします。なぜイチョウの葉なのでしょう？

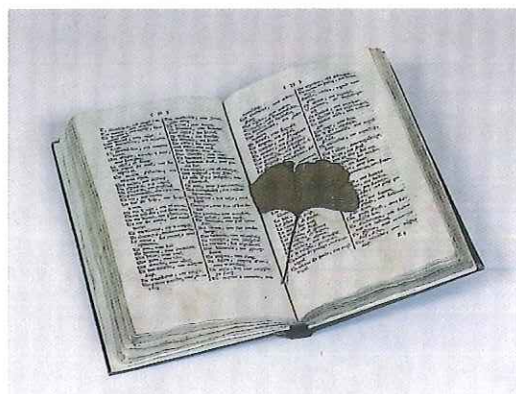
イチョウの葉には防虫効果があるといわれてきました。元禄10(1697)年に刊行された食物本草書『**本朝食鑑**』の「銀杏」の項目には、

わが国では昔から、書蠹を能く除くといわれ、新しい葉を採って毎に書中にはさむ。これは芸草(香草の名)に擬えたものであろうか。芸草は、異芳があつて、それで蠹を避けるのだが、銀杏の葉には香氣はない。まだどのような故をもつものか詳らかでない。

引用：東洋文庫312『本朝食鑑2』1993年、平凡社

とあり、理由はわからないが、イチョウの葉はシミを避けると書かれています。

最近の研究では、イチョウの葉には防虫効果のある成分が含まれ、シミが嫌うことが報告されています。



▲ペイル フランス語教程(武雄蘭書128)
【国重要文化財】武雄鍋島家資料 武雄市蔵

イチョウの葉が挟まれた武雄蘭書。他の武雄蘭書や書籍類などにも、イチョウの葉を挟んだものが確認されている。



武雄市図書館・歴史資料館 20周年企画 ～振り返ろう！～ 歴史資料館編

武雄に鉄道が敷かれて111年となる平成18(2006)年、当館の開館5周年を記念して、日本の近代化と鉄道の歴史を紹介する展覧会「**鉄路開業111年 武雄に汽車が走ったころ**」を開催しました。

明治5(1872)年9月12日、日本で初めての鉄道が新橋～横浜間に開業しました。鉄道網は全国へ拡大し、明治28年5月5日に佐賀～柄崎(駅名は「武雄」)間が開通しました。古くから湯治場として多くの人々を集めてきた武雄も、鉄道の開通により、遠来の客も訪れる観光地として新たな出発をすることになりました。



武雄鍋島家の家紋「**抱銀杏**」は、イチョウの葉2枚をデザイン化したものだ。



▲開業当時の武雄停車場(武雄名勝絵葉書より) 武雄市蔵



～振り返ろう！みんなの図書館～vol.8

2000年10月1日にオープンした武雄市図書館・歴史資料館は、今年で20周年を迎えました。

今回は、10月9日～11日に開催した20周年記念セレモニー、エポカル武雄まつり、キッズウィークを振り返ります。



20周年記念セレモニー



音訳・点訳体験



スペシャルおはなし会



スペシャル絵本ショー



感謝状贈呈



武雄青陵中学校ミニコンサート



布遊具であそぼう！



しばふ広場であそぼう！

2020 第74回
読書週間
10月27日(火)～11月9日(月) 10日間



読書週間の季節です。



終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。今の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。



こいどく

#恋読 貸出セットつくりました！



10月27日～11月9日の読書週間に合わせて、3冊セット貸出を行っております。今回のテーマは「恋読」。

読書の秋、あなただけの1冊に出会えるかもしれません。

ページをめくる手が止まらなくなるような、時間を忘れてただただ本に夢中になるような、そんな本に恋する時間をつくってみませんか？

一般向けと子ども向けをそれぞれ30セットご用意しています。

ぜひこの機会に読書を楽しんでください！



武雄市図書館・歴史資料館

図書館 9:00～21:00／年中無休

歴史資料館 9:00～17:00／月曜休館

（災害時等、緊急の場合は休館致します。）

TEL 0954-20-0222 FAX 0954-20-0223

HP <https://takeo.city-library.jp/>

<http://city.takeo.lg.jp/rekishi/his-top.html>